

放課後等デイサービスルナネスト 自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	活動目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			全員が適切な支援が受けられるよう、活動に応じて教室内の机椅子の配置を変えるなど工夫しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			国の人員配置基準を満たしつつ、保育士、精神保健福祉士、発達支援教育士、教員免許など福祉と教育において必要な資格者を配置しています。
	③	事務所の設備等はスロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		スロープなどの設置は行われていないため、ニーズに合わせて検討していきます。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定路振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			週に1度行っている定例会議で、業務改善についての意見交換と実施を行っています。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			年に一度のアンケートと、面談などでのヒアリングで、保護者様とお子様のニーズを調査し業務改善を行っています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページでの公表を行っています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在は保護者様と社内の自己評価のみになっているため、外部評価の方法についても検討していきます。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			月に1回、心理や発達に関する研修を行っています。
適切	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護所のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			利用契約時のアセスメント面談、アセスメントアンケート、定期面談や日々の保護者様との共有でニーズを把握し、複数名のスタッフの客観的視点で計画を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			自社で作成したアセスメントツールを利用しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎日行う共有の時間などで利用者様の課題を話し合い、プログラムを立案しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	○			月に10回ほどイベントを行い、それ以外の学びの時間においても毎日内容を変えながら、学びの機会を提供しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			事業所にいられる時間の長さやその時の状況に応じて、目標を変え支援を行っています。

な 支 援 の 提 供	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を制作しているか	○		その日の活動内容と、お子様の発達段階に合わせて、個別・集団のどちらが適切かを考えて支援を行っています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎日支援開始前に共有時間を設けており、底でお子様の目標を確認しながら、支援について決めている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点を共有しているか	○		毎日出勤してすぐ、前日の共有時間を設け、支援の振り返りと今後の方針について話し合いを行っています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		支援終了後、お子様の様子を「個別支援計画の目標について」「その他の様子について」に項目分けをして記録しています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		保護者様や相談支援員と連絡を取りながら、モニタリングを実施しています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○		集団でのコミュニケーション、創作活動、学習など複数の活動を行っています。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		担当者会議前には担当者とスタッフで情報共有を行っています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		保護者様や学校のニーズに合わせて、送迎時や保護者様を通して情報共有を行っています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		現在は該当する利用者はいないが、必要に応じて連絡が出来るよう手配していきます。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		現在は相談支援員や保護者様との共有が主ですが、今後必要に応じて情報共有を行っています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容の情報を提供するなどしているか		○	現在まではそのようなケースはなかったが、今後必要に応じて情報共有を行います。
	㉕	児童発達センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		職員が興味を持った研修に参加できる体制を整え、実際に研修に参加しています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		公園での活動の際に、公園で遊んでいる他の子どもと一緒に遊ぶ機会があります。
㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		市内のワーキンググループに参加しています。	

	⑳	日ごろから子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時の共有や連絡帳での連絡、必要に応じて電話相談を行い、共有を行っています。
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか		○	定期面談をペアレントトレーニングの機会とし、実施をしています。
保護者への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に説明を行っています。また、必要があればお問い合わせにも回答しています。
	㉓	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		電話や連絡帳、送迎時を相談の機会とし、スタッフ間で話し合いながら支援や助言を行っています。
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	現段階では行えていないが、アンケートなどでニーズを把握し、今後実施の形を検討していきます。
	㉕	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子供や保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情受付窓口を設置し、契約時に周知を行っています。また、苦情が発生した場合は直ちに教室内で共有し対応を行っています。
	㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		HP上のブログ、インスタグラムやFacebook等のSNS、公式LINE等を利用し、活動内容の報告、今後の予定の共有を行っています。
	㉗	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報については鍵のついた棚ですべて保管し、電子情報についてもセキュリティに配慮した社内のサーバーで管理しています。
	㉘	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		お子様に伝わりやすいよう、視覚的な補助としてイラストの入っている掲示を行っています。
非常時等	㉙	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		地域の方向けのペアレントトレーニングなど、利用者様以外が参加できるイベントを行っています。
	㉚	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		職員に対してはBCP研修、保護者様に対しては契約時にご説明で周知を行っています。
	㉛	非常災害に発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年2回の避難訓練に加え、災害BCPの研修で職員の訓練を行っています。
	㉜	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		年2回の虐待防止研修と、毎月の虐待チェックのアンケートを行い、意識の向上を図っています。また、日々の業務の中で虐待の危険性が少しでもある行動を指摘し合うように意識しています。

の 対 応	④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子供や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		身体拘束についてのガイドラインを策定し、契約時に保護者様に説明を行っています。その際、保護者様からも身体拘束をしなければならない可能性があるかをヒアリングし、合意を取ったうえで支援を行っています。
	④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		契約時の情報共有でアレルギーを把握し、イベントで食べ物を提供する際には別のものを提供するなどして、対応をしています。
	④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットの報告書をまとめ、事例集として職員ならだれでも見られる場所に保管をしています。